

2026年3月期 通期決算説明資料



再生医療をあたりまえの医療に

Creating a Future for Regenerative Medicine

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（東証グロス：7774）

2026年5月1日



-  1. 2026年3月期決算概況／2027年3月期業績見通し P4
-  2. 2027年3月期の成長施策 P11

- ✓ 2026年3月期第1四半期決算資料より、ラボサイトのブランドを訴求した事業展開をさらに強化・発展させ、事業内容をより明確に表現するため、報告セグメント名称「**研究開発支援事業**」を「**ラボサイト事業**」に変更しています
- ✓ 次期の詳細な事業戦略については、本日同時開示しております『**事業計画及び成長可能性に関する事項**』を併せてご参照ください

当社製品の用語解説

再生医療製品事業

患者自身の細胞を採取・培養した製品を保険適用下で提供



ネピック／オキュラル

自家培養角膜上皮／自家培養口腔粘膜上皮

■ LSCD（角膜上皮幹細胞疲弊症）



ジェイス

自家培養表皮

■重症熱傷 ■先天性巨大色素性母斑 ■表皮水疱症



ジャスミン

メラノサイト含有自家培養表皮

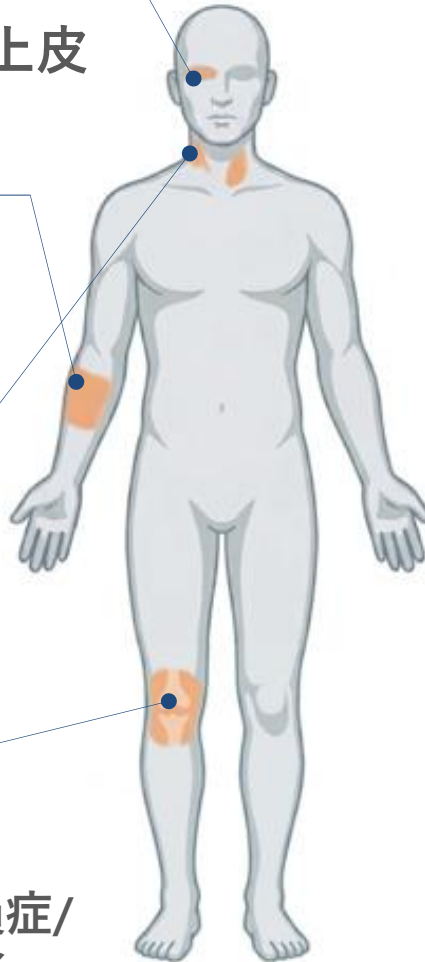
■白斑



ジャック

自家培養軟骨

■ OA（変形性膝関節症） ■ 外傷性軟骨欠損症／離断性骨軟骨炎



ラボサイト事業

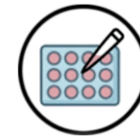
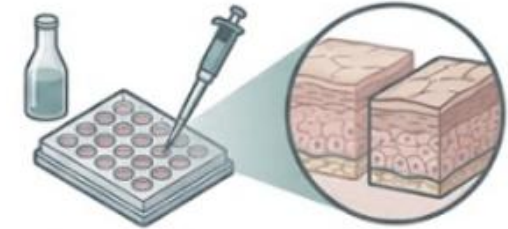
動物実験の代替として、ヒトの細胞で化粧品や薬などの安全性を確認するキットの販売



ラボサイト LabCyte

研究用ヒト培養組織

■表皮モデル ■角膜上皮モデル



エピセンサ EpiSensA

当社製品を使用する
国際的なガイドラインに準拠した
皮膚感作性試験法

■物質が皮膚アレルギーを引き起こす可能性を評価する試験



1. 2026年3月期決算概況／2027年3月期業績見通し

サマリー

ジャックOA上市の転換点により、先行投資フェーズが終わり、黒字化のフェーズへ

2026年3月期実績

売上高 **2,182**百万円

前年比 $\triangle 272$ 百万円

見通し比 $\triangle 27$ 百万円

営業損益 \triangle **549**百万円

前年比 $\triangle 311$ 百万円

見通し比 $+0$ 百万円

当期純利益 \triangle **734**百万円

前年比 $\triangle 479$ 百万円

見通し比 $\triangle 194$ 百万円

ラボサイト事業の
売上計上の翌期ズレ

投資有価証券の評価損
149百万円計上

2027年3月期見通し

売上高 **3,070**百万円

前年比 $+887$ 百万円

営業損益 **100**百万円

前年比 $+649$ 百万円

当期純利益 **100**百万円

前年比 $+834$ 百万円

ジャックは既に93受注（年間見通しの27%）で好発進

(2026/4/30時点)

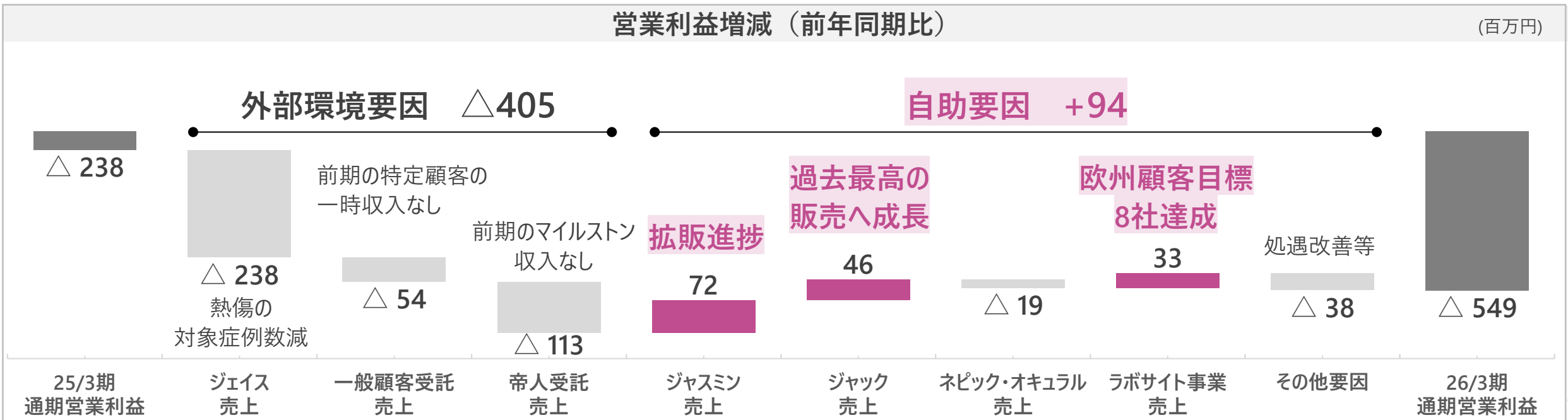
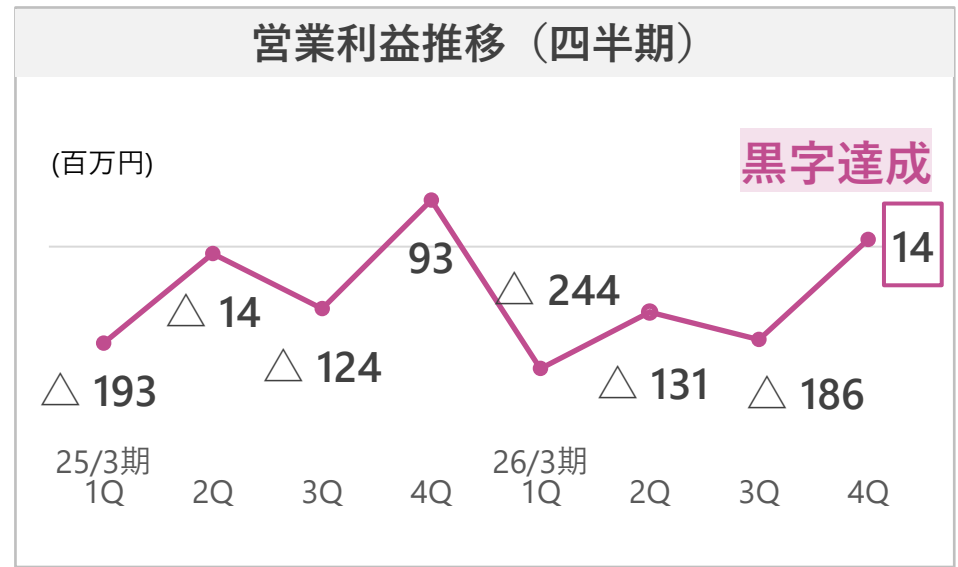
2026年3月期決算 及び 2027年3月期通期業績見通し

- ✓ 2026年3月期：ジェイス熱傷対象症例の減少、帝人マイルストーン収入無しの影響が大きく減収・減益
- ✓ 2027年3月期：ジャック・ジャスミンを成長ドライバーに、各事業の確実な成長により黒字化達成を見込む

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2025年 3月期	2026年3月期			2027年3月期		
	通期実績	通期実績	対前年同期		通期 見通し	対前年同期	
			増減額	増減率		増減額	増減率
再生医療製品事業 売上高	1,493	1,354	△138	△9%	2,070	715	53%
皮膚領域（ジェイス、ジャスミン）	985	819	△165	△17%	1,070	250	31%
軟骨領域（ジャック）	382	428	46	12%	900	471	110%
角膜領域（ネピック、オキュラル）	125	105	△19	△15%	100	△5	△5%
再生医療受託事業 売上高	713	546	△167	△23%	640	93	17%
一般顧客受託	348	295	△54	△15%	430	134	46%
帝人受託	364	251	△113	△31%	210	△41	△16%
ラボサイト事業 売上高	248	281	33	14%	360	78	28%
売上高合計	2,455	2,182	△272	△11%	3,070	887	41%
売上総利益	1,511	1,267	△243	△16%	2,000	732	58%
販売費及び一般管理費	1,749	1,816	67	4%	1,900	83	5%
営業損益	△238	△549	△311	-	100	649	-
経常損益	△234	△537	△302	-	110	647	-
当期純損益	△255	△734	△479	-	100	834	-

2026年3月期 通期決算の概要

外部環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ジェイスは3Qまで熱傷の対象症例数の減少があったが、4Qは落ち込みを脱出（3Q比+25%） ✓ 受託事業は前期の一時収入分が今期ゼロの影響で減収
自助要因	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ジャックはOA適応拡大の保険収載を達成 3月が過去最高の30症例/月で好調に推移 ✓ ジャスミンの導入施設が42施設へ拡大し、受注増加 ✓ ラボサイト事業の海外展開が進捗



再生医療製品事業の業績概要

皮膚領域

ジェイス



12月まで熱傷の対象症例数が減少したものの、**4Qは回復**した。
(直近でも回復水準を維持)

重症熱傷における高評価を受け、更なる救命への貢献を進める。

ジャスミン



一部施設での導入遅れがあったが、受入体制が整った**42施設への拠点拡大**や患者啓発活動が奏功。新規受注の獲得が進み、**増収に寄与**。

軟骨領域

ジャック



2026年1月のOA保険収載以降、有効性・安全性を訴求する説明や手術手技の周知徹底により既存施設での治療導入が大きく進展。3月には過去最高の**月間30例の受注**を達成。契約施設数は**全国125施設**に拡大。

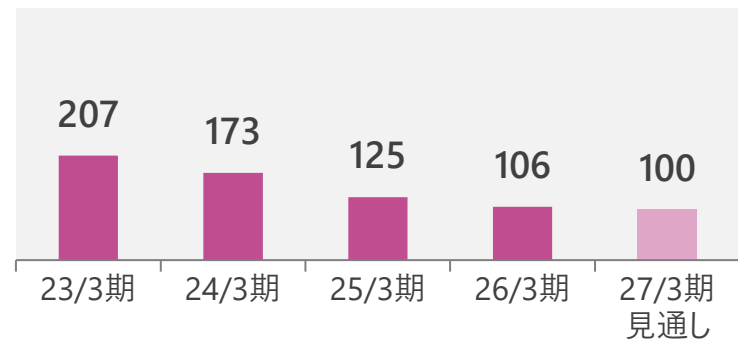
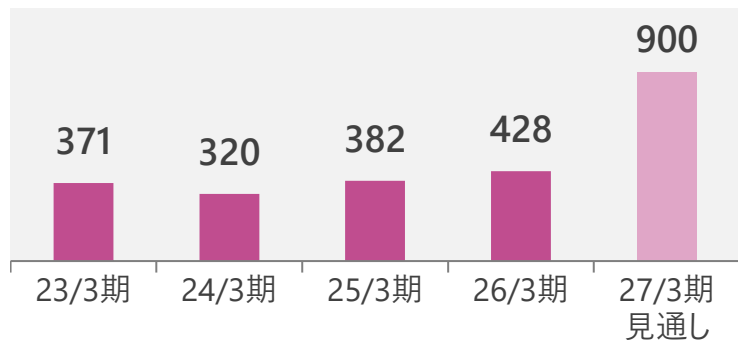
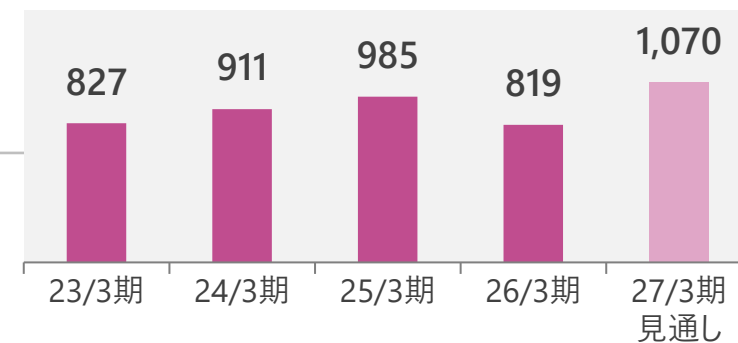
角膜領域

ネピック
オキュラル



対象となる患者総数が少なく、既存施設における新規患者の伸び悩みにより受注減も、(株)ニデックとの連携により、**新規施設開拓は奏功**。角膜治療を専門とする施設での新規採用が進み、患者の治療機会を広く提供。

売上高推移 (百万円)



再生医療受託事業・ラボサイト事業の業績概要

再生医療受託事業

一般顧客



一時的要因（前年のスポット収入剥落）により減収。**高付加価値な「治験製品製造フェーズ」へ複数案件が移行**し、特定顧客に依存しない収益基盤を確立。

- アクチュアライズ(株) 国内第II相臨床試験の被験者投与を完了
- (株)VC Cell Therapy iPS由来製品の実用化に向けた受託を開始
- (株)メトセラ 治験製品製造契約を締結し、製造が進捗
- AlliedCel(株) 上市後製造を見据えた契約を締結し、受託を開始

帝人

マイルストンの来期期ズレあり減収。受託収入はノウハウ提供が一巡。

ラボサイト事業

欧州



エピセンサの顧客拡大が加速。**定期顧客8社を達成し、増収牽引**。現地生産による本格展開に向け、**ドイツでの子会社設立を準備中**。

インド

市場ニーズに即した営業を展開し、角膜モデルへの引き合いが拡大。

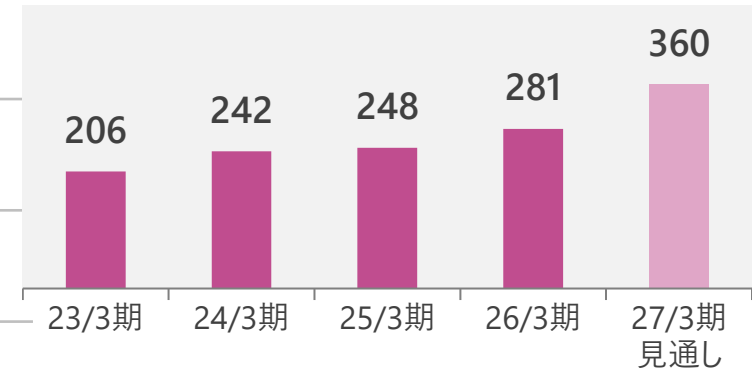
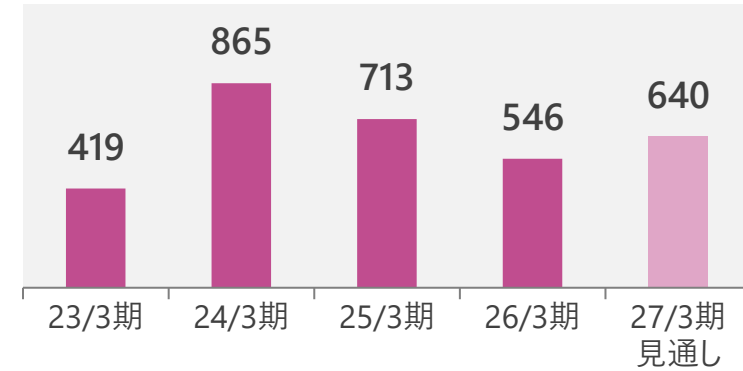
国内

エピセンサの技術講習会や、体制強化で受注拡大。

新規

研究用腸管上皮モデルを開発中。

売上高推移 (百万円)



2026年3月期 財務諸表補足

セグメント別営業損益

全事業セグメント黒字を維持

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	営業損益		増減額	要因
	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績		
再生医療 製品事業	218	78	△140	ジェイス熱傷の対象 症例減少
再生医療 受託事業	411	327	△84	前年のスポット収入 剥落
ラボサイト 事業	67	52	△15	海外向け戦略投資
調整額	△936	△1,007	△71	全社インフラ整備費・ 処遇改善等
合計	△238	△549	△311	

将来の成長に向けた投資

パイプライン開発を着実に前進

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	増減額
研究開発費	506	497	△9
有形・無形固定資産取得額	93	77	△16

貸借対照表

十分な現金と純資産があり、健全な財務体質を維持

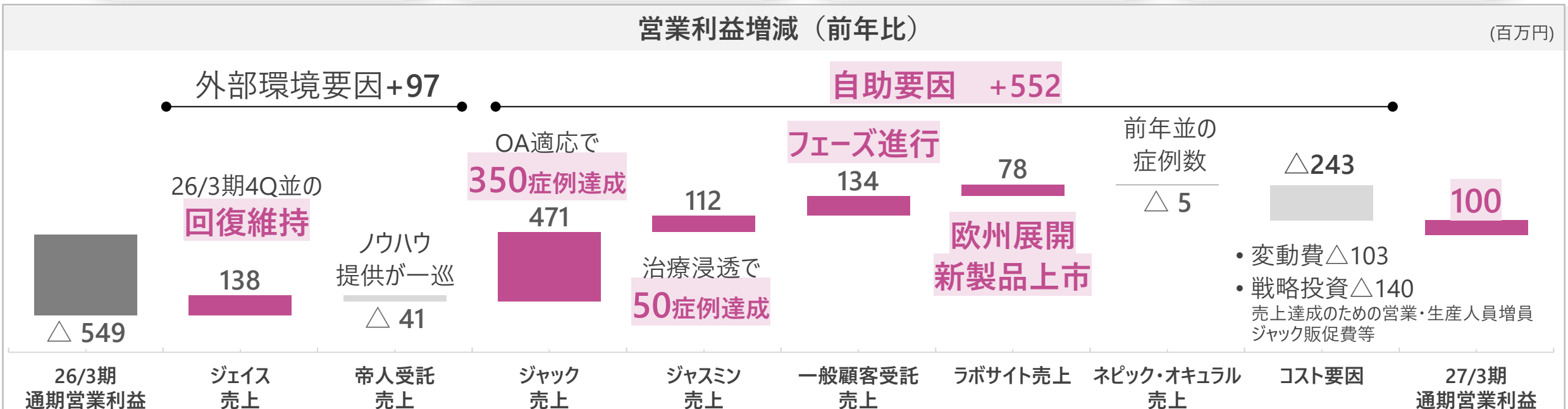
単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	2025年3月31日	2026年3月31日	増減額
現金及び預金	3,885	3,250	△635
その他流動資産	939	931	△8
固定・繰延資産	1,688	1,500	△187
資産計	6,512	5,682	△829
流動負債	637	560	△76
固定負債	50	32	△18
負債計	687	592	△95
資本金	4,958	3,997	△961
資本準備金	2,788	1,827	△961
利益剰余金	△1,922	△734	1,187
純資産	5,825	5,090	△734
負債・純資産合計	6,512	5,682	△829



2. 2027年3月期の成長施策

黒字化を牽引する4つのエンジン

<p>ジャックOAの本格拡大 (最大の柱)</p> <p>足元で月間30例超のペースが定着 年間目標350例へ</p>	<p>白斑治療 (ジャスミン) の市場開拓</p> <p>複数拠点での集患 ルート構築と 治療啓発の推進</p>	<p>受託事業のフェーズ進行</p> <p>既存案件のフェーズ 進行と 新規顧客獲得</p>	<p>ラボサイト事業の新市場開拓</p> <p>欧州市場での 大手顧客獲得と 腸管モデルの上市</p>
--	---	---	--



能動的な「領域別専門部制」へ進化

- 「運動器（整形）領域」と「上皮領域」の領域別専門部隊へ組織再編
- 新規医師への手技周知や、クリニックと連携した集患ルート構築を推進
- 潜在市場を自ら掘り起こし、『再生医療の標準化』による連続成長を牽引

ジャックの売上倍増

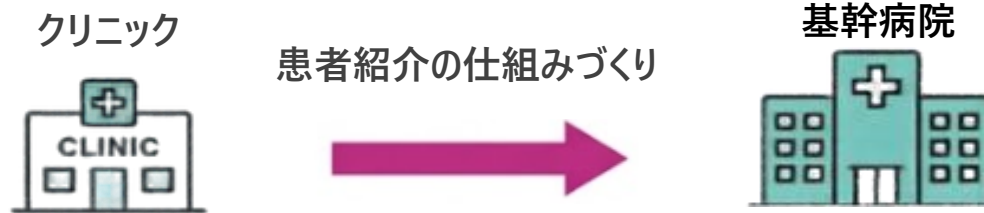


ジャック症例実績



- 26年度受注数は既に93例
年間見通しの27%に到達
- 全国125施設の契約完了
- ターゲット選定に基づき、
営業リソースを集中投下
- 説明会等の徹底で、ジャック
使用のリピート率向上

ジャスミンの市場開拓



- 治療体制が整った全国42施設と強固に連携して
患者アクセス向上の取り組み推進
- トップ施設の治療実績（ノウハウ）の横展開
- 新たな情報チャネルを活用した患者啓発強化

特定顧客に依存しない強固なポートフォリオ

- 顧客基盤の多角化と、開発パイプラインの着実な進展
メトセラ、アクチュアライズ、VC Cell Therapy、AlliedCel等、複数社が進捗
- 高付加価値フェーズへ移行
治験製品製造→商用生産準備等へ進展。収益の安定化に貢献



「イノベーションパートナー」としての独自価値

- 一貫通貫の支援モデル
研究開発段階の設計から商用製造までを
一貫通貫で支援する、高付加価値モデルの実現



- 次世代技術の蓄積
iPS細胞など次世代技術に幅広く対応



帝人とのシナジー創出

- 連携体制の強化
ノウハウ供与から顧客獲得連携体制へ
- シーズ誘致の加速
柏の葉再生医療プラットフォーム
での共同でのシーズ誘致の強化



国立がん研究センター東病院、三井不動産(株)と連携して
革新的治療を研究から生産までワンストップで支援する拠点を構築

欧州展開の加速と製造拠点の設立

- 現地安定供給体制の確立
輸送期間の短縮・安定供給に向け
ドイツ子会社設立準備が最終段階
2027/3月期上期中の設立完了に向け
確実なマイルストーンを設定済
- グローバルシェアの獲得
皮膚感作性試験法『エピセンサ』
の標準化を機に、
欧州現地拠点を最大限に活用
大手顧客への円滑な導入を現地でサポートすることで、欧州市場におけるシェアの拡大を図る

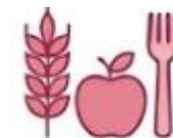


新規業界への進出

- 新領域（創薬・食品）への参入
新製品「腸管モデル」の上市により、化粧品分野に加えて「創薬・食品メーカー」を開拓
適正な品質評価体制の構築を優先し、上市時期を2027/3月期下期中に再設定
- 新規業界（医療機器・素材）の開拓
医療機器展示会への参加等を通じ、「医療機器・素材メーカー」へのアプローチを本格化
- ソリューション提案への進化
単なる試験キットの販売から脱却し、「他社デバイスとの組み合わせ」など、高付加価値モデルへ



創薬



食品



医療機器・素材

現状進行中の2製品に加え、産学連携により新規パイプライン探索活動を強化中

領域	開発品名	適応症	上市目標	基礎研究	前臨床試験	治験	製造販売承認	保険収載
皮膚	Allo-JaCE03	熱傷を含む皮膚欠損	2028年3月期	安定製造プロセス構築の実施 期間延長により、1年遅れ			2026年3月承認申請	
がん	JPCAR019	急性リンパ性白血病	検討中	第I/II相医師主導治験実施中 2027/3月期で完了見通し				

医療機器

乾燥他家（同種）培養表皮 Allo-JaCE03

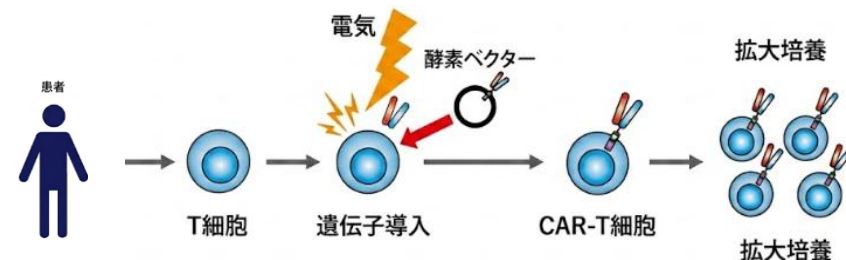


他人の細胞を原材料
大量生産・ストック可能



- 乾燥他家培養表皮として**世界初**
- 独自の乾燥技術により『**常温での長期保管**』と『**即時使用**』を両立
- 緊急時にその場ですぐ使え、患者さんと医療従事者の負担軽減
- 治験で**有効性、安全性を確認**

自家CAR-T細胞 JPCAR019

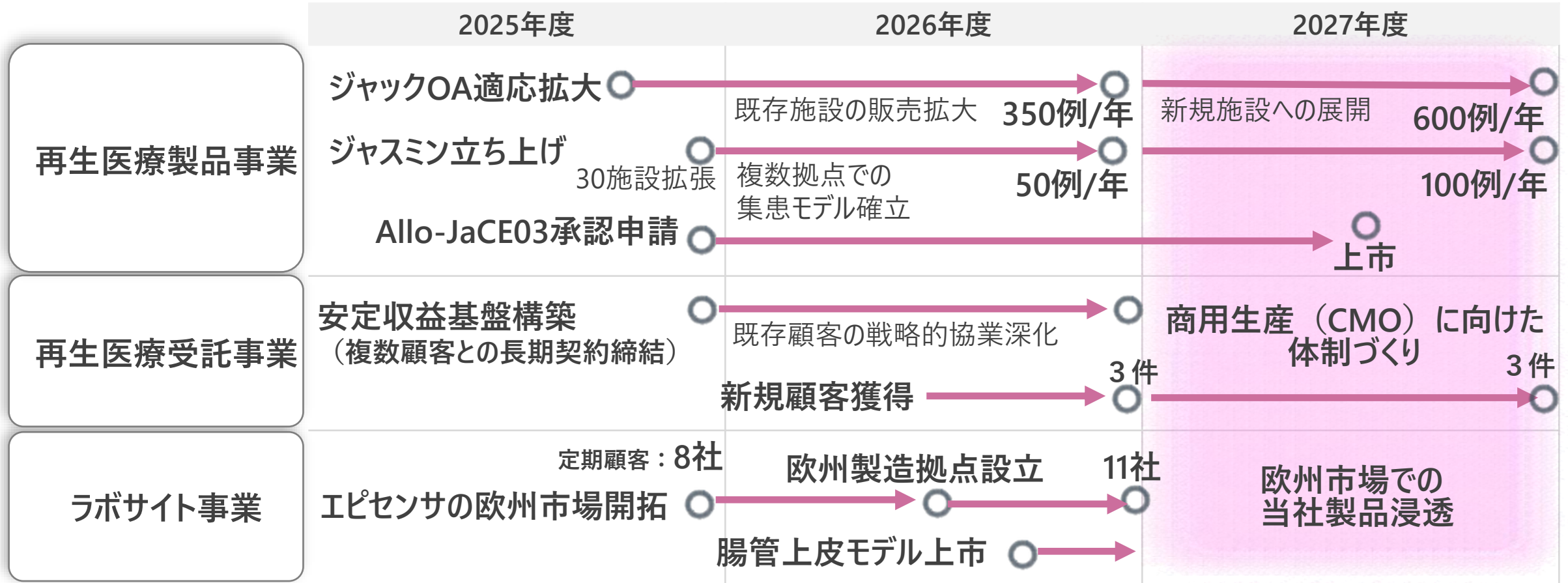


- 非ウイルス性（酵素法）ベクターの採用により、**製造コストを低減**
- 上市の実現により、既存の治療で適応外の患者に対する治療の選択肢が広がる可能性
- **がん以外の他疾患への事業拡大を検討開始**

成長の実現に向けたロードマップ

2027年度目標は変更なし。
達成に向け、各事業の明確なマイルストーンを設定

売上高 50億円
営業利益 5億円



目標達成のための主要条件

- 上記施策により、売上 再生医療等製品事業35億円、再生医療受託事業10億円、ラボサイト事業5億円を達成
- 利益率10%の費用コントロール

本資料の取り扱いについて

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp 18